

## 謹んで新年のご祝辞を申し上げます

旧年中は大月町観光協会にひとたならぬご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年も会員の皆様にとって信頼がおけ、親しみをもつていただける観光協会を目指し、スタッフ一同誠心誠意努める覚悟でございます。なにとぞ本年も倍旧のご支援のほどお願い申し上げます。

令和四年 元旦 大月町観光協会長 安田理香



## 2022年大月町の食に熱い視線

昨年は2019年末から世界を震撼させた新型コロナウィルス感染症(以下コロナ)の流行の影響を受けた中、感染予防対策やコロナの勢いが減退したタイミングを縫うように多くの対策が講じられました。町内各事業者の皆様におかれましては、挽回のきっかけを探すような年だったのではないでしょうか。そんななか2022年が幕を開けました。本年は大月町の多くのエリアが含まれる「足摺宇和海国立公園」が国立公園になってから50周年。先日ジオパークに認定された土佐清水市を中心に様々なイベントや観光誘致が行われることと思います。

また、高知県の観光は全国から注目を浴びている「食」をテーマに大きく舵を切っていこうとしています。昨年暮れに高知市で開催されたイベントにおいて大月がグルメや農水産物で出展したところ、一部の品物については開始10分で売り切れ、他のものも完売するなど大月町の食の底力と魅力を強く実感することができました。(→詳細はウラ面にて)本年も多くのお客様が大月町にお越しになられると思いますので、事業者一丸となって観光や食をたっぷり楽しんでいただける大きな流れを作っていきましょう。

## ウインドファーム 風のたより

今期は雨で開放が中止になったり、コロナでイベントを延期したりで大変な1年でしたが、高知家健康パスポートのイベントとして開催したウォーキングイベント(11/20)は、町観光ガイド会のガイドのお話を聞きながら風車からの絶景を楽しみ、町外の方には特になかなか食べる機会の少ないブリのへら寿司のお弁当もついてくる楽しいイベントで、お客様からの評判も上々でした。来期もたくさん楽しいイベントを企画していくのでぜひ遊びに来てくださいね。

毎月第三日曜日! ウインドファーム一般開放予定

1/16(日) | 2/20(日) | 3/20(日) | 4/17(日) | 5/15(日) | 6/19(日) | 7/17(日) | 8/21(日) | 9/18(日)



※雨天・強風の場合は中止とさせていただきます。

## トク割キャンペーンエリア拡大

高知県民が県内の宿泊施設の対象プランを利用することで、最大半額の値引きと、飲食店などで使える2,000円分のクーポンがもらえる「高知観光トク割キャンペーン」が旅行控えをしていた県内の利用者に大好評いただいておりますが、キャンペーン対象エリアを12月下旬より愛媛県・徳島県に拡大、期間も延長され、県外者の利用条件として「ワクチン・検査パッケージ」を活用予定です。この機会を活用して利益向上につなげましょう。

## 町事業者経営支援給付金について

町ではコロナの拡大に伴い影響を受けた観光・飲食・宿泊事業者へ事業継続の支援を目的に事業者経営支援給付金の受付を行っています。令和3年5月1日から同年9月30日の期間の売り上げ額が前年度もしくは前々年度と比較し20%以上減少した、町内に事務所または店舗のある事業者が対象となり、同期間の電気・水道・ガス使用量および賃料分10万円を上限に補助されます。締切は1/30。詳しくは町HPで→



## 竜ヶ浜キャンプ場通信

昨年竜ヶ浜キャンプ場では、予約とレジ業務のシステム化を実施しました。これにより作業効率が向上し、利用客や売上げに関する各種データを集計することが可能となりました。お客様にとっても24時間予約ができるようになって利用しやすくなり、予約件数の増加へつながりました。他にも安定したキャンプ場運営の実現のため、今後も実績から得られる情報を基に運営方法のブラッシュアップを継続していきたいと思います。



大月町観光協会 通信 vol.15

# 大月産が大人気開始10分完売も

## 今年も熱闘グレ釣りダービー

昨年十一月二十七・二十八日に高知市北御座のアグリコレットで開催された「大月町の」ちそうマルシェ」に町内の九事業者が参加し、訪れたお客様から大変好評をいただきました。

二十七日(土)には本マグロの解体ショーも行われ、その後の即売会では大トロから赤身まであつという間に完売。桜カツエさんや、あるいはお月さん、有田有為堂さんのスイーツ、八重丸水産さんの本マグロのホルモンカレーや干物も好評を博したほか、町産の野菜や焼き芋なども大人気でした。



なかでもみやざきさんが満を持して出品した大月の地域グルメ「ブリのへら寿司」は初日に早々に完売と、予想を上回る

ターサンにより一日目には開店十分後には完売と、予想を上回る反響をいただき、大月町産の農・水産物やスイーツ、地域グルメの底力に期待以上の手ごたえを感じる」ことができ、今後の販売や商品開発に明るい兆しが見られた」とは大きな収穫となりました。

## イルミネーション「レインボーロード」10日まで

年末年始の大月の名物として多くの方に訪れていた正在の「レインボーロード」趣を変えてから二年目。今年度は頂上の展望台まで毎日17時から22時までライトアップ! 一月十日(月祝)まで行かれています。まだの方はお急ぎください!



大月町と土佐清水市・宿毛市がコラボレーションする冬の風物詩「三市町合同グレ釣りダービー」が今年も開催されています。一月五日(水)まで行われた予選において、三市町それぞれのエリアで期間中に釣り上げたグレのサイズを基準に上位一〇人の計三〇人が選ばれました。一月三十日(日)に行われる決勝会場は土佐清水市の伊佐漁港からスタートし、ウキフカセ釣りで釣り上げた25センチ以上のグレ五尾の合計重量によって競われ、優勝賞金の一〇万円と名誉を目指して熱闘が繰り広げられます。賞金総額は四〇万円。当団は釣りバカ日誌浜ちゃんのモデルとしてもおなじみ、黒笛慈幾さんがコーディネーターとして参加されます。本大会の成績は後日、観光協会ホームページやSNSにてお知らせいたします。



## バリアフリー観光の未来広がる

介護が必要な方が先進技術を使って遠隔地の観光を行うバリアフリー観光のモニターリングが十一月四日柏島で行われました。協会スタッフも、車椅子ユーチューバーの眠梨桜さんと一緒にマリンドリーム福留さんのグラスボートに乗り込み、遠隔地から操作できる分身ロボットOrion Homeを使つて県内の特別支援学校の生徒さんたちに実際に柏島の美しい海を見てもらしながら、質問に答えたりコミュニケーションを楽しんでいただきました。



## 大月歴史文化探訪へり 「小正月(町内各地)」

新年も明けて少し落ち着いてきた一月十五日(およびその前後の日)を「小正月(こしよ)

うがつ)」と呼び、馬路・大浦(以上新暦)・春遠(旧暦)といった地区

では春祈禱や春祭が行われ、その際に大わらじを

編んだ大わらじを疫病や禍が入つて来ないよう、地区の東西南北の境に立てかけるという風習がいまも続いている。



その他の地区でも様々な行事が行われ、このではそのうちいくつかを紹介する。  
**左義長(さぎちょう・さぎわらじ・びんじ焼き)**



お正月飾りや旧年にお祭りしていた神札などを持ちより、浜や野、神社境内において火で焼き、一年の無事を祈るもの。樺ノ浦地区では鏡餅を火に入れ持ち帰つて食し、お正月に飾つていた松は、その火であぶつたものを玄関に飾る二年のお守りにならという風習がある。

## 金むこさん(カナムコサン)

